



# 医療

子どもは、突然吐いたり下痢したりする急性胃腸炎で、脱水症状を起しやすいため、これは医師の診察を受けることと指示されることが多かったが、最近では重症でなければ経口補水療法で、という考えが広まりつつある。(森田孝史)

市販されている経口補水向け飲料。スポーツ飲料より少し割高だ



■経口補水向け飲料やスポーツ飲料の成分

	ナトリウム濃度	糖分量 (%)
WHOガイドライン	1	1.35
経口補水薬	0.67	2.5
WHOガイドライン	0.47	3.5
経口補水薬	0.47	2.3
経口補水薬	0.28	6.7
経口補水薬	0.28	4.1

※はWHOガイドラインを1とした時

※この記事は、(株)大塚製薬朝日新聞社の許諾を得ています。

## 「痛い思いせず家に帰せる」

後(06年7月・07年6月)は12人、約6割減った。南陽氏は「小さな子どもは色の鮮やか・体重が38・1度あった。朝8時頃の診察開始を待たず、母と母親に連れられて同市のみなみクリニックを受診した。」

南陽氏は急性胃腸炎で無熱脱水症になっていると診断。必要なら点滴をしますが、まずはこれを試してみよう(一)。経口補水液(ORS)を6分ごとに与え、リットル2つ飲わすように指示した。院内の処置室で親が飲ませながら、南院長(柳子)を見ていたら、約10分経つとリットルのORSを飲み、顔色も良くなってきた。1時間経過後もみなみクリニックでは06年7月から本格導入のORSを小児に開始した。南陽氏が海外の小児科医に診察の状況聞いて「日本では点滴が少なかった」と思われた。かきつけた。3. 経口補水導入前の1年(06年7月・06年6月)が27人だったのに比べ、導入

後(06年7月・07年6月)は12人、約6割減った。南陽氏は「小さな子どもは色の鮮やか・体重が38・1度あった。朝8時頃の診察開始を待たず、母と母親に連れられて同市のみなみクリニックを受診した。」

南陽氏は急性胃腸炎で無熱脱水症になっていると診断。必要なら点滴をしますが、まずはこれを試してみよう(一)。経口補水液(ORS)を6分ごとに与え、リットル2つ飲わすように指示した。院内の処置室で親が飲ませながら、南院長(柳子)を見ていたら、約10分経つとリットルのORSを飲み、顔色も良くなってきた。1時間経過後もみなみクリニックでは06年7月から本格導入のORSを小児に開始した。南陽氏が海外の小児科医に診察の状況聞いて「日本では点滴が少なかった」と思われた。かきつけた。3. 経口補水導入前の1年(06年7月・06年6月)が27人だったのに比べ、導入

後(06年7月・07年6月)は12人、約6割減った。南陽氏は「小さな子どもは色の鮮やか・体重が38・1度あった。朝8時頃の診察開始を待たず、母と母親に連れられて同市のみなみクリニックを受診した。」

南陽氏は急性胃腸炎で無熱脱水症になっていると診断。必要なら点滴をしますが、まずはこれを試してみよう(一)。経口補水液(ORS)を6分ごとに与え、リットル2つ飲わすように指示した。院内の処置室で親が飲ませながら、南院長(柳子)を見ていたら、約10分経つとリットルのORSを飲み、顔色も良くなってきた。1時間経過後もみなみクリニックでは06年7月から本格導入のORSを小児に開始した。南陽氏が海外の小児科医に診察の状況聞いて「日本では点滴が少なかった」と思われた。かきつけた。3. 経口補水導入前の1年(06年7月・06年6月)が27人だったのに比べ、導入

後(06年7月・07年6月)は12人、約6割減った。南陽氏は「小さな子どもは色の鮮やか・体重が38・1度あった。朝8時頃の診察開始を待たず、母と母親に連れられて同市のみなみクリニックを受診した。」

南陽氏は急性胃腸炎で無熱脱水症になっていると診断。必要なら点滴をしますが、まずはこれを試してみよう(一)。経口補水液(ORS)を6分ごとに与え、リットル2つ飲わすように指示した。院内の処置室で親が飲ませながら、南院長(柳子)を見ていたら、約10分経つとリットルのORSを飲み、顔色も良くなってきた。1時間経過後もみなみクリニックでは06年7月から本格導入のORSを小児に開始した。南陽氏が海外の小児科医に診察の状況聞いて「日本では点滴が少なかった」と思われた。かきつけた。3. 経口補水導入前の1年(06年7月・06年6月)が27人だったのに比べ、導入

# 点滴より経口補水療法

子どもの嘔吐・下痢→中軽程度の脱水に有効

病者用食品 健康増進法にもよく厚生労働省の認可を受けている。病者用食品は、患者の健康回復のために適量と適切なタイミングで摂取することが必要とされている。病者用食品は、患者の健康回復のために適量と適切なタイミングで摂取することが必要とされている。病者用食品は、患者の健康回復のために適量と適切なタイミングで摂取することが必要とされている。

子どもの脱水症の程度の見分け方の一つ

- ① 親指のつめを白くするまで押してパッと離す
- ② 再び赤くなるまでの時間をみる

1.5秒以下 軽度脱水  
1.5～3秒 中等度の脱水  
3秒以上 重度の脱水

- 子供の急な下痢で、こんな時は医師の診察が必要
- ・6カ月未満、または体重8%未満の乳児
  - ・早産の既往、慢性疾患や併発症がある
  - ・38度以上(3カ月未満)、39度以上(3～36カ月)の発熱
  - ・血便がある
  - ・1日6回以上的大量の水様便
  - ・嘔吐が頻りに出る
  - ・目の落ちこぼれ、泣いても涙が出ない、皮膚や口、舌の乾燥、尿量の減少などが見られる
  - ・呼吸が速くて眠りがち、機嫌が悪い
  - ・経口補水の効果が見られない、または飲ませられない
- (米疾病対策センターのガイドラインなどから)

## ゆっくり少量ずつ、根気強く

世界保健機関(WHO)がガイドライン(ORS)でORSの成分を定めている。水やお茶、果汁など、塩分が少なすぎると、脱水がひどくなる。甘みがないのが特長。大塚製薬工場(OS-1)

「初めの子が最初吐き下痢を起したときは、もう一回おこなった。別のような症状があるときは、医師に診てもらわなければならない。脱水が抑えられたらすぐに普通の食事に戻すのが大切で、絶食の必要はありません」と金子教授は話す。

「最初の嘔吐や下痢が始まったら、すぐに少量ずつ飲む。嘔吐や下痢が止まらなければ、2回も3回も飲む。嘔吐や下痢が止まらなければ、2回も3回も飲む。嘔吐や下痢が止まらなければ、2回も3回も飲む。」

「最初の嘔吐や下痢が始まったら、すぐに少量ずつ飲む。嘔吐や下痢が止まらなければ、2回も3回も飲む。嘔吐や下痢が止まらなければ、2回も3回も飲む。」

「最初の嘔吐や下痢が始まったら、すぐに少量ずつ飲む。嘔吐や下痢が止まらなければ、2回も3回も飲む。嘔吐や下痢が止まらなければ、2回も3回も飲む。」

「最初の嘔吐や下痢が始まったら、すぐに少量ずつ飲む。嘔吐や下痢が止まらなければ、2回も3回も飲む。嘔吐や下痢が止まらなければ、2回も3回も飲む。」

「最初の嘔吐や下痢が始まったら、すぐに少量ずつ飲む。嘔吐や下痢が止まらなければ、2回も3回も飲む。嘔吐や下痢が止まらなければ、2回も3回も飲む。」

「最初の嘔吐や下痢が始まったら、すぐに少量ずつ飲む。嘔吐や下痢が止まらなければ、2回も3回も飲む。嘔吐や下痢が止まらなければ、2回も3回も飲む。」



# 医療